

唐津市 ★★★★★★

議会だより

第53号 (平成29年2月1日)

目次

- ・平成28年度12月補正予算 P 2
- ・議案質疑 P 3・P 4
- ・常任委員会審査報告 P 5・P 6
- ・一般質問 P 7~P 11
- ・報告書(特別委員会・唐津観光議員連盟) … P 12・P 13
- ・ユネスコ無形文化遺産とは P 14
- ・意見書(要旨)・編集後記 P 15
- ・現地調査・唐津市議会第3期議員 P 16



「祝」ユネスコ無形文化遺産登録「唐津くんちの曳山行事」

平成28年度12月 唐津市一般会計補正予算

30億9,154万9千円（累計768億9,376万5千円）

を可決しました！

補正の概要は、次の通りです。



【総務費】

- ・新庁舎建設基本・実施設計費 2億7,013万7千円
- ・原子力災害対策施設等整備費 3億4,900万円
- ・減債基金積立金 5,516万3千円
- ・響創のまちづくり基金積立金（モーターボート競走事業収益金分）
1億5,000万円
- ・ふるさと寄附金推進費 2億9,897万3千円
- ・ふるさと寄附金基金積立金 4億円

【民生費】

- ・国民健康保険特別会計繰出金 3億1,715万6千円
- ・臨時福祉給付金給付事業費 4億3,704万円
- ・臨時福祉給付金給付事務費 2,539万2千円
- ・地域共生ステーション防犯対策整備事業補助金 180万円
- ・切木保育所・高串保育所民営化事業補助金 (債務負担行為)



【農林水産業費】

- ・タマネギべと病緊急特別対策事業補助金 364万8千円
- ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 4,769万円
- ・農業基盤整備促進事業費 1,500万円
- ・相知黒岩地区ほ場整備事業費 2億円
- ・県営土地改良事業負担金 1,635万9千円
- ・市有林野管理費 3,417万1千円
- ・農林地（林地）崩壊防止事業費 285万円
- ・漁港機能保全計画策定費 6,663万6千円

【商工費】

- ・観光文化施設管理費 120万8千円
- ・旧大島邸建物等復原整備費 502万9千円
- ・観光地域づくり事業費 484万7千円

【土木費】

- ・道路維持改良費 1億円
- ・急傾斜地崩壊防止事業費 1,500万円
- ・県営港湾事業負担金 790万5千円
- ・県営街路事業負担金 4,008万円



【教育費】

- ・教員宿舍管理費 1,030万円
- ・埋蔵文化財発掘調査費 1,450万円
- ・スポーツ・文化合宿等補助金 160万円

【災害復旧費】

- ・平成28年災害農地・農業用施設復旧費 1億3,450万円
- ・平成28年災害林業施設復旧費 805万円
- ・平成28年災害土木施設復旧費 1,562万円

《特別会計》

【国民健康保険特別会計】

- ・国庫支出金等過年度分返還金 3,223万6千円

【下水道特別会計】

- ・汚水幹線整備事業費 1,500万円
- ・雨水幹線整備事業費 2,500万円

【モーターボート競走事業会計】

- ・事業収益（事業収益を上方修正するもの） 2億9,770万2千円





議案質疑

提出された76件の議案に対して各党派から14名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

凡例

総務…総務部長、企画…企画部長、財務…財務部長
市民…市民部長、保健…保健福祉部長
農水…農林水産部長、商観…商工観光部長
交流…交流文化スポーツ部長、都市…都市整備部長
ホ事…ボートレース事業部長、教育…教育部長

議案第116号 平成28年度唐津市一般会計補正予算

1. 総務費「新庁舎建設基本・実施設計費」…… 2億7,013万7千円

質疑 新庁舎建設に向けての進捗状況は。

答弁【総務】 本年6月から、市民代表を交えた本庁舎建設委員会において、新庁舎建設基本計画についてこれまで6回の会議を開催し、新庁舎建設基本計画案を取りまとめた。

質疑 プロポーザルの参加要件についての考え方は。地元設計事務所の取扱は、年度内に設計業者決定との事だが可能か。

答弁【総務】 参加要件を一般公募型にするのか、ある程度条件を付するのか、現在検討している。地元企業の参加については、十分に配慮をすることが必要であり、設計プロポーザルの参加者は、共同企業体としたい。また、非常に厳しいスケジュールではあるが、本年度内の事業者決定を目指し、事務を進めている。

2. 民生費「地域共生ステーション防犯対策整備事業補助金」…… 180万円

質疑 事業内容は。

答弁【保健】 相模原市の障害者施設の事件を受け、「宅老所」と「ぬくもいホーム」への防犯対策に要する費用支援で、一事業所当たり30万円以上の事業費で限度額は90万円の県の事業である。

質疑 これからの市の対策方針は。

答弁【保健】 市内41施設中、今回の事業で3施設、3月に補正予算を予定している国の事業で、3施設を見込んでいる。残りの35施設は県と歩調を合わせ、情報提供や整備の相談等に応じ早期整備に向けた支援に取り組んでいく。

3. 農林水産業費「タマネギべと病緊急特別対策事業補助金」…… 364万8千円

質疑 補正内容は。

答弁【農水】 農業協同組合や農業者5戸以上で組織する団体等を事業主体として、1a以上の面積で販売目的のタマネギの生産を行う市内の農業者に対して、「マンゼブ剤」を共同購入・配布し、平成28年度内に3回以上散布されることを条件に、その3回分の薬剤（10a当たり約2kgの量）の購入費を補助。

質疑 事業実施の確認方法は。

答弁【農水】 各農業者から「農薬受領証兼散布誓約書」を提出してもらい、それを基に、実施面積は作付計画と照合しながら現地確認等を行い、面積把握に努める。3回以上の散布が義務付けられているから「防除暦」の確認や見積書・請求書・納品書・領収書等の「証拠書類」により事業実施の確認を図る。

4. 農林水産業費「市有林野管理費」…… 3,417万1千円

質疑 今回の補正事業の内容は。

答弁【農水】 平成29年度で計画していた事業を国の経済対策事業の補正に伴い、前倒しにより行うもので、繰越明許費として計上。事業内容は、搬出間伐24ha、作業道開設3,000mを計画。施業場所は、七山地区の白木・藤川の2か所と、巖木地区星領の1か所を予定。

質 疑 今後の市有林の間伐等の整備計画は。

答弁【農水】 唐津市森林経営計画を策定しており、年間50ヘクタール程度の間伐を計画。国・県の補助事業の要望に努めるとともに、皆伐等の実施も含めて、森林整備を促進していく。

**5. 商工費「観光文化施設管理費」…… 120万8千円
「旧大島邸建物等復原整備費」…… 502万9千円**

質 疑 復原工事の進捗状況と開館までのスケジュールは。

答弁【交流】 現在、主屋棟、茶室棟、管理棟といった主だった建物部分は工事完了。屋外のトイレや待合は今月中の完成予定。茶庭を含む外構部分については、今年度中（3月末）の完成予定。開館スケジュールは、4月下旬頃に開館記念式典を予定している。

質 疑 開館後の管理はどこが行うのか。

答弁【交流】 開館後、集客状況や種々の文化行事、イベントの活用具合等を把握するために、3年間を目途に直営にて管理を行う予定。この間平行して最良の活用方法、管理方法などを検討したうえで指定管理者制度への移行を行いたい。

議案第133号 唐津市子育て支援センター条例制定について

質 疑 整備内容は。

答弁【保健】 りんくの3階に緊急サポートや病後児保育、新たな取組として利用者支援、地域子育て支援拠点事業。4階は「子育て世代の交流の場」を設ける。

質 疑 現在の子育て支援センター（大手口センタービル）はどうなるのか。

答弁【保健】 新たな施設への機能移転が円滑に進むまで、サテライトセンターとして窓口機能を残す。

議案第139号 唐津市モーターボート競走事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

質 疑 管理者設置の根拠は。

答弁【ボ事】 地方公営企業法第7条に管理者の設置という条文があり「地方公営企業の業務を執行させるため管理者を置く。」と規定されているため。

質 疑 なぜこの時期に管理者を設置するのか。

答弁【ボ事】 企業会計導入後4年目を迎え、その運用が安定し、市への繰出金を行えるようになり、プロパー職員を採用するなど組織体制が整い、企業経営の責任の明確化を図り、中長期的なマネジメントプランを推進させるために、平成29年度から設置するもの。

議案第191号 平成28年度唐津市一般会計補正予算

商工費「観光地域づくり事業費」…… 484万7千円

質 疑 予算計上に至った背景。

答弁【商観】 12月1日に唐津くんちを含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録された。その直後から曳山展示場への入館者が対前年同月比1.5倍を超える増加で関心の高さもうかがえる。今回登録された他の32団体の動向に併せた効果的なPRを図っていく必要がある。登録を契機としたさらなる地域の盛り上がり、これまで以上に唐津くんちの曳山行事を広く周知していくために計上した。

常任委員会審査報告

議長より常任委員会ごとに付託された案件について審査しました。

12月 定例会



総務教育委員会

- ◎新庁舎建設基本・実施設計費
質疑 新庁舎建設の理念は。
答弁 「市民力・地域力によるまちづくり拠点」としている。行政機能だけでなく市民の交流の場として、多目的な活用が出来る玄関ホールをオープンスペース化で考えている。
- ◎基本計画策定業務を予定価格1867万円に対し20万円で落札している。この後の、基本設計、実施設計の入札に有利に働くのではないか。
答弁 議事録についてもホームページに掲載している。提案の内容に関して、計画策定業務を行ったことによる優位性は特にならない。
- ◎今回の予算は、工事費に対し3・75%は高い気がするが。
答弁 算定に当たっては、面積が1万7000㎡、免震構造、空調設備は中央管理方式の3つの条件で、佐賀県の建築設計基準により算定している。
- ◎教員宿舎管理費
質疑 教職員宿舎の事業計画と家賃は。
答弁 離島の教職員宿舎について、今回改修費を計上している小川島以外の計画はない。今後は現地確認をし、市民センターと連携を密にしながらか進めていきたい。小川島地区宿舎の家賃については単身用が2400円、世帯用が7200円となっている。
- ◎議案第130号 唐津市駐車場条例の一部を改正する条例制定について
質疑 定期駐車券の料金は。
答弁 東城内駐車場と材木町駐車場は、指定管理者が料金設定をしている。市直営の南城内駐車場は、周辺の駐車場の利用料金との比較の中で、従来5200円だったが6000円に設定した。
- ◎ふるさと寄附金推進費
質疑 寄附金が大きく伸びた訳と、寄附金の金額の区分等の説明を。
答弁 返礼品率を昨年の20〜30%から、40〜50%に変えたのが大きな要因と考える。金額については、昨年度は1億1000万円、今年度はトータルで約12億とみている。1万円と2万円が96%を占めている。
- ◎旧大島邸と映画「花筐」への寄付はあるのか。
答弁 旧大島邸は、平成23年〜28年までに320万円。「花筐」は昨年現在までに8300万円程度が寄付として集まっている。
- ◎業者数と人気商品は。
答弁 現在46業者の258品目。人気商品は、1「夢しずく」15キロ、2ハンバーグ、3「コシヒカリ」15キロ、4佐賀牛、5ステーキとなっている。
- ◎現地調査
・唐津保健福祉事務所（大名小路）
・南城内駐車場（南城内）
・旧加部島小学校（呼子町）

市民厚生委員会

- ◎国民健康保険特別会計繰出金
質疑 今回約3億1千万円を繰出して、平成28年度末で累積赤字の残高が約5億9千万円ということだが、来年度の繰出金の計画は。
答弁 平成29年度は、平成28年度の決算状況を見ながら、補正予算を組む予定だが、法定外の繰出金は今年度とほぼ同額位を考えている。
- ◎モーターボート事業収益金1億円と法定外を繰り入れても、平成29年度末で累積赤字が残る場合は、追加の法定外繰り入れの補正予算を考えている。
- ◎切木保育所・高串保育所民営化事業補助金（債務負担行為）
質疑 これでも応募が無かった場合はどうするのか。
答弁 初期投資に係る経費の負担が大きいとの意見もあり施設整備の補助金の枠を児童館の分園化並の条件に拡大し再度公募する。募集の範囲も県内まで広げる。それでも応募が無かった場合は、保育所の分園化、公立で残す、指定管理者等を考えている。
- ◎議案第133号 唐津市子育て支援センター条例制定について
質疑 4月に開所されるが、駐車場の問題が心配だ。今後、子ども達が来た時の予測はどう考えているのか。
答弁 りんくの駐車場に約30台駐車可能。しかし、混雑が予想されるため、近隣の民間事業者の駐車場の利用を願っている。また、現在改築中の唐津保健福祉事務所の仮駐車場も土日、祝日は使用の承諾を得ている。
- ◎土日はいいと思うが、子ども達が外で遊べない雨の日などに集中するのではないかと。公用車を止める場所を外に持っていくとか工夫を。
答弁 今後、障がい者支援課とも相談しながら検討する。
- ◎議案第135号 唐津市介護サービス事業に関する条例の一部を改正する条例制定について
質疑 介護保険のサービスの内容が変わって、料金が変わるといふことだが、周知は。
答弁 訪問・通所サービスについては、ほぼ現行どおりだが、一部再編する事業についてのメニューと料金等について、12月に3回目となる事業者向け説明会を開き、1月末を目途にまとめ、3月の市報に特集号として広報に努める。
- ◎現地調査
・浜玉町世代間交流センター「やすらぎ荘」（浜玉町）
・唐津市子育て支援センター（東城内）

産業経済委員会

◎畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金
【質疑】事業主体と取組主体が違う理由は。

【答弁】唐津・玄海肉用牛振興協議会で地域の振興計画を立て、その目標達成のために、中心経営体が行う規模拡大施設整備に対し補助。取組主体は中心経営体となる。中心経営体は、中村牧場、JA、中山牧場の3社。

◎観光地域づくり事業費

【質疑】「唐津くんちの曳山行事」がユネスコ無形文化遺産登録を受けてのPR予算だが、他団体との連携は。

【答弁】九州で登録された5市が連携し、九州全体の盛り上げを図りたい。

◎議案第137号唐津市旧大島邸条例制定について

【質疑】施設の価値観についての考えは。

【答弁】城内まちづくり計画の中で、まちはミュージアムとゆうコンセプトで建てる施設。唐津城・高取邸・曳山展示場などと連携した集客を図りたい。商工観光部とも連携して、面で周遊できるようにしたい。

【質疑】大座敷15畳を貸出中は入館料無料となるのか。

【答弁】無料となる。文化イベント等で、市民、観光客に立ち寄ってもらいたい。

【質疑】市民と観光客の双方が利用するので、運営は難しくなる。特に、入館料の設定は、時には、入館は無料だが入れない部屋があり、イメージダウンにつながるのでは。

【答弁】この様な施設は初めてで、多少無理がある部分も認識した。しかし、

施設を開館するには条例が必要である。まずは利用実態を把握したい。

【付帯意見】旧大島邸が有料の観覧箇所と貸出箇所が重複するため、管理運営上懸念される部分が見受けられる。よって、利用実態の把握と検証に努め、入館料あるいは使用料が利用実態に合わない状況が認められた場合には、料金改定も視野に入れ、その解消を図られるよう強く要望します。

◎議案第146号財産の処分について(その1)

【質疑】唐津市国民宿舎いるは島を売却う議案だが、相手方の選定方法は。

【答弁】最低価格を設定し、プロポーザル方式で決定。

【質疑】売払いの条件は。

【答弁】建物は現状渡し。今後10年間は休憩・宿泊施設として運営することが条件。ただし、運営に関しては、紳士協定であつて法的拘束力はない。

◎議案第139号唐津市モーターボート競走事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

【質疑】管理者選定の方法は。

【答弁】法的には、地方公共団体の長が選任する。実際には収益事業のため、経営感覚、モーターボート競走事業の知識は当然必要。さらに、地方自治体の行財政についての見識も必要となる。

《現地調査》

- ・中村牧場(肥前町赤坂)
- ・山本地区用排水路整備(山本)
- ・旧大島邸(南城内)

都市整備委員会

◎道路維持改良費について

【質疑】平準化の目的は。

【答弁】年度末から翌年度当初にかけて、切れ目のない発注を行うため。

【質疑】平成27年度の発注状況は。

【答弁】3月20件、4月8件、5月24件、6月27件で全体の92パーセントを発注した。

【質疑】今年度の計画は。

【答弁】本庁関係17件、各市民センターで3〜4件、計47件を予定している。2〜3月に設計、契約を行い4〜6月工事を実施。

◎急傾斜崩壊防止事業について

【質疑】事業概要と事業費は。

【答弁】東大島町地区と橋本地区2箇所、350万円、蕨野、蕨野第二地区で600万円、高野、曲り地区で500万円。

【質疑】地区の受益戸数は。

【答弁】東大島町地区7戸、橋本地区7戸、蕨野地区25戸、蕨野第二地区10戸、高野地区12戸、曲り地区8戸で保全人家も同じ。

【質疑】発注計画は。

【答弁】1月に補助金交付決定を受け、速やかに発注を行う。

◎県営港湾事業負担金について

【質疑】事業の概要は。

【答弁】唐津東港緑地整備と東港船だまり防波堤の長寿命化対策工事及び呼子港高潮対策工事。

【質疑】唐津、呼子港の今後の計画は。

【答弁】唐津港については、港湾施設老朽化対策工事。呼子港は、

殿ノ浦の護岸補強工事を行う。

【質疑】デザイン会議は唐津市の港全体を行うのか。

【答弁】唐津港を対象としたデザイン会議である。

【質疑】いつまでするのか。

【答弁】緑地計画にかかわるもので年限はない。

◎県営街路事業負担金について

【質疑】事業の概要は。

【答弁】全体事業費22億円。延長268m両側4.5m歩道、全体幅員18m。

【質疑】進捗状況は。

【答弁】事業費ベースで今年度を含めて78パーセントとなっている。

◎平成28年災害土木施設復旧費について

【質疑】今後の発注計画は。

【答弁】予算成立後ただちに発注するよう準備を進めている。

◎汚水幹線整備事業費について

【質疑】マンホールの損傷状況は。

【答弁】今回予定している40基は、緊急性が高く、早急な対応が必要なもの。

【質疑】何年に設置されたのか。

【答弁】最も古いもので昭和56年に設置し35年が経過している。

《現地調査》

- ・蕨野第二地区急傾斜地(相知町)
- ・市道城黒岩線(夕日)

一

般

質

問

12月定例会の一般質問は、12月12日から15日の4日間行われ、14名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。

●凡例

総務…総務部長、企画…企画部長、財務…財務部長
市民…市民部長、保健…保健福祉部長
農水…農林水産部長、商観…商工観光部長
交流…交流文化スポーツ部長、都市…都市整備部長
ボ事…ボートレース事業部長、教育…教育部長
七山…七山市民センター長



大西康之
(志政会)

質問 中小企業の振興について
質問 第2期中心市街地活性化基本計画の中で、パティオ整備の状況は。
商観 中心市街地活性化の重要事業の一つ。商店街青年部全員体制のもと賑わい創出の洗い出し、求められる施設機能や活用の方向性、商店街への波及効果等について議論中。まとめられた意見は、アクションプランにて具体的取組へつなげる。
質問 約5600社ある市内事業者の活性化推進について具体的施策は。
商観 資金面での負担軽減、中小企業診断士を通じた経営相談窓口や経営指導員による個別指導の強化及び、地場企業の雇用確保を図る。
質問 文化財の保存継承について
質問 国指定無形民俗文化財「唐津くんちの曳山行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録された。その曳山を保存している曳山展示場の保存環境は。



唐津くんちの曳山行事

交流 室温30度以上の日が4日、湿度管理の為に散水を行っている。
質問 漆工芸品であるが、理想の保存環境は。
教育 室温は夏季26℃、冬期22℃湿度は通年55%が理想。漆器の湿度は60%で管理。
質問 観光施設として、十分に曳山の魅力を伝えられていない。また、保存状況も悪い展示場であるが施設更新の考えは。
商観 曳山行事の魅力を感じていただける様、関係部局と調整する。
交流 築後半世紀近く経過した施設である。理想的な保存状況の確保が出来ていない。建替えを含む検討を早急に進めたい。
市長 個人的には、建替えに向けて進めるべき。新市長のもと、建設的に前向きな議論を願う。



宮崎千鶴
(公明党)

市民にやさしい福祉の在り方について
質問 介護保険の誤徴収にどれだけ費用が掛かったのか。②処理状況。③今後の対策は。
保健 印刷製本、郵送、時間外勤務手当他で、約501万円。1件当たり154円。
②還付率72・6%。追加納付率70・6%。還付未済については再度案内する。③人為的ミスは管理監督の不行き届き。担当者全員によるシステムの研修をし、再発防止に努めていく。
質問 高齢者への送付書類が、字が小さい、分かりにくい、本人確認の写しが必要等、高齢者にとって是不親切。やさしい対応、民生委員、福祉員の協力をお願いできないか。
保健 現在「生活支援体制整備事業」に取り組んでいる。今後全市的に地域で支える仕組みづくりをしていく。
松原再生の持続性について



自走式仮設トイレカー

質問 末永く再生活動を推進していくために、ポランティアのモチベーションを上げる必要がある。松葉・枯れ葉を燃料とするお風呂の設置、市民・観光客、視察対応のビジターセンターの設置、自走式トイレカーの活用等を、どう考えるか。
市長 お風呂については研究する。ビジターセンターの設置はやり残した。トイレは、虹の松原保護対策協議会の議題に乗せるようにしていく。
男女共同参画社会の方向性について
質問 今後の女性の活躍支援はどのように。
企画 女性活躍推進法に沿って事業所にアンケートを実施する。
その他の質問
◎行政アドバイザーについて



山下正雄
(志政会)

教育と地域振興について

質問 教育は地域の振興や発展にどう関わるのか。

教育長 未来への投資であり、よりよい社会の創り手となる人材を育てる。

質問 唐津市の児童生徒の学力水準が低い要因と対策は。

教育長 家庭学習時間が少ない等、様々な要因がある。学ぶ意欲と態度を育てている。必ず学力は向上すると確信している。

質問 強い心や社会の変化に対応できる教育を。

教育長 思いやりの心、郷土を愛し地域の将来を担う人材を育成している。

質問 明治維新前後なぜ唐津人が全国的に活躍できたのか。

教育長 唐津藩は民間塾が広く浸透し、教育レベルが高かった。

質問 旧大島邸で青少年が広い視野をもつ事業をすべき。

交流 平成の耐恒寮との方針を立て事業する。

質問 小笠原記念館は忘

れられている。整備方針を確立すべき。

商観 今後の施設の管理や運営の方法を検討する。

質問 高等教育機関の誘致が困難なら、コスメの成分分析室や水産業活性化支援センター等を産業技術支援研究所に再編し、市立の高等教育機関の創設構想を示したら。

企画 大学連携を強化し地域活性化を推進する。

質問 もっと幅広い生徒に高等教育を受けさせるべき。市の奨学金制度を改編し、国の制度以上に給付型奨学金制度の創設や運営方針を変更すべき。

教育 給付型奨学金は慎重に検討する。

質問 離島高校生の課題の実態調査を再実施し、対応策を検討すべき。

交流 再調査する。



小笠原記念館



中村健一
(志政会)

玉島川の活用と諸対策について

質問 玉島川と支流河川の位置づけは。

都市 昭和27年に、県管理の二級河川に指定され、支流を合せた総延長は、約60kmになる。

質問 玉島川の河川改修事業の概要は。

都市 昭和55年から平成32年までの事業であり、全体事業費は48億円になる。

質問 河川の観光面での利活用と市の支援策は。

商観 イベント等で賑わう他、夏場に涼を求めるスポットとして、福岡方面からの客も多い。地域の宝を活かした地元有志の活動に、側面からサポートする。

質問 内水面漁協に対する市の補助は。

農水 増殖義務事業として、種苗購入費用に對し、12の補助と県による鮎の稚魚放流事業がある。

質問 川の「にこり」についての認識と対策は。



七山鳴神公園

七山 雨天以外での川の白濁情報があり、巡視したが原因が特定できない。県土木事務所とも協議し、環境保全に務める。

質問 支流「滝川」における民間事業者による水力発電事業の経緯は。

企画 平成26年2月から、現在まで地元を含め十数回の説明があり、本年11月に七山全体での説明会を開催された。

質問 事業による「滝」の水量減少が懸念されるが、今後の対応は。

市長 水力発電施設が、環境を保全しながら自然との調和が図れるかがポイントだと思う。滝の水量のシュミレーションも技術的に可能か協議する。

今後、市としても地元の不安を解消するために、協定書の内容などについても協議を重ねたい。



井本敏男
(志政会)

佐賀県農業白書と唐津市の対応について

質問 佐賀県の振興計画2015の概要は。

農水 さがの食と農を盛んにする県民条例の基、稼げる農業の確立と農村振興を目指し、県産農産物のブランド力向上販路拡大、担い手育成などの各分野で数値目標が掲げられている。

質問 この計画の施策はどういった体系になっているのか伺いたい。

農水 農業振興と農村振興の二つの施策体系からなっている。

質問 農業振興施策の構成はどうなっている。

農水 ①県農産物ブランド力の向上と販路拡大②マーケティングによる競争力のある農産物づくり③次世代の担い手の確保・育成④農業生産を支える生産基盤づくりからなっている。

質問 マーケティングによる競争力のある農産物づくりについては、市場

や消費者のニーズの対応が大事である。その取組を伺いたい。

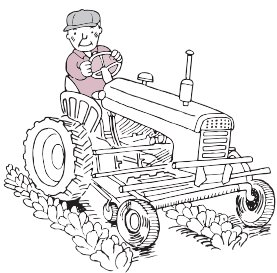
農水 さが園芸農業者育成対策事業や唐津地区いちごパッケージセンターへの補助の他、環境保全型農業を推進し、消費者の信頼を高めている。

質問 次世代の担い手確保対策の市の取組は。

農水 青年就農給付金事業に平成24年度から実施。本年度の実績として、個人就農者29名夫婦就農者12名の支援を実施している。

質問 ブランド力向上と販路拡大の取組を伺う。

商観 首都圏市場のトップセールスは毎年実施している。海外への販路拡大も重要である。ガラム準州、インドネシア等も実現化を目指す。





榎崎三千夫
(清風会)

原子力立地給付金について

質問 制度の説明を。

交流 原子力発電所の立地市町村の、隣接市町村等の住民や企業に対する給付金制度である。平成27年4月27日の玄海原発1号機の廃止決定に伴い、平成28年から電灯契約一口当たり、年間4812円が4212円に、企業や事業所は契約電力1kW当たり2400円が、2100円に単価が引き下げられている。

質問 この制度はいつから始まったのか。また、年間の交付金額は。

交流 昭和56年から始まり、平成16年に制度改正があり、現在に至っている。交付を受けている唐津・肥前・鎮西・呼子の合計で、5億4008万3496円である。

質問 浜玉・相知・敵木・北波多・七山は恩恵を受けていない。全国には同じ条件の所が、18か所ある。連携で国に要望する

この回答であったが、市の対応は。

交流 経済産業省や九州経済産業局に毎年要望している。引き続き関連市町村と、国への要望を行っていく。

質問 ハウスミカンはヒートポンプを導入し、契約kWが大幅に上がっている。事業所も大きな契約kWと考えられる。地域間格差があり、問題では。

交流 事業者にとっては大規模になるほど交付額が大きくなり、対象地域と対象外地域の格差が拡大する状況である。原子力立地給付金についても市内全域が交付を受けられるよう、国の交付規則について現時点での隣接市町村全体を交付対象地域とするよう、今後とも強く働き掛けていきたい。



江里孝男
(志政会)

敵木地区の振興策について

質問 敵木市民センターの建設計画は。

企画 合併特例債の有効期限である平成32年度を目標として建設したい。

質問 敵木認定こども園の建設計画は。

保健 平成29年度用地買収・敷地造成、平成30年度こども園建設、平成31年4月に開園の予定。

質問 老人憩の家などの機能集約は。

企画 新市民センターに、コミュニティセンター、老人憩の家の機能を集約。JAや商工会等については協議している。

質問 跡地の活用はどのように考えているのか。

企画 跡地活用については、地元や検討委員会の意見を聞いて実施する。

質問 認定こども園建設とまちづくり団体（敵木デザイン）との連携は。

保健 事業者と保護者、市が参加する3者協議の場などを通じて、よりよ

い認定こども園の設置運営に向け、地域の皆様と連携していきたい。

質問 国道203号から敵木バイパスの転換を促進し、国道203号の交通安全を図るためにも敵木多久有料道路の無料化はできないのか。

都市 供用開始後は通行料収入により、借入金の償還、道路の維持管理、徴収業務を賄っている。無料化するとすれば、多額の財政負担となる。

以上のことを考慮すると、現状では難しい。

質問 本山区の歩道設置状況と今後の予定は。

都市 通勤・通学者の安全確保のため歩道設置の要望があることは承知している。地元関係者の合意形成の状況等を踏まえて対処する。



敵木市民センター



石崎俊治
(志政会)

庁舎建設について

質問 庁舎建設にあたっての主なコンセプトは。

総務 「市民力・地域力によるまちづくり拠点」を基本理念とし、「機能性と利便性の高い庁舎」、「効率的で経済性の高い庁舎」、「市民の安全・安心を支える庁舎」、「景観に配慮したまちづくりの拠点となる庁舎」、この四つを基本方針に掲げ、目指すべき庁舎像を検討したい。

質問 庁舎建設は、ある意味、市にとっては大規模な公共事業として考える必要がある。出来るだけ多くの市内業者の方々が参加できるようにするの

が望ましいのでは。

総務 設計者選定も、共同企業体によるプロポーザル方式を予定している。工事についても出来るだけ多くの市内事業者が参加できるように配慮したいと考えている。

道路 について

質問 唐津駅旭丘線にある現在の歩道は幅も狭く

又、段差が大きい。今回の道路改良事業の中で解消されるのか。

都市 現在の歩道は、マウンドアップ形式となっており段差が生じている。今回の改良で、車道との段差をなくしたセミフラット方式で整備し、バリアフリー化を図る計画としている。歩道幅も3.5mと広くなる事から、車いすの方や高齢者の方にも利用しやすい歩道になると考えている。

文化遺産 について

質問 唐津くんちの曳山行事が、ユネスコの無形文化遺産に登録された。今後の曳山展示場への入館者増を考えると、今の展示場では、狭いのでは。

交流 この機会を捉え、関係機関・団体と協議を行い、建て替えの検討をはじめていきたい。



市役所本庁舎



中川 幸次
(公明党)

福祉のまちづくりについて

質問 高齢者のサポート体制の取り組みは。

保健 平成30年度に市内全域、概ね小学校単位、30地区に協議体を設置し民生委員、駐在員をはじめ、ボランティア、介護事業所、病院などの様々な団体による「生活支援体制」を構築し、地域一体となった高齢者へのサポート体制を推進する。

質問 生活支援体制を構築する中で、各地域でニーズが異なっているのに、「公助」と「共助」を結びつけるため、自分の受けたサービスが受けられる「福祉券」を発行してはどうか。

開も併せ、検討する。
スポーツ振興について

質問 総合型スポーツクラブの現状と課題は。

交流 子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる、新しいタイプのクラブである。地域住民により自主的・主体的に運営されるもので、唐津地区には3つのクラブがある。課題は、会員や指導者の確保である。

質問 市民の一体感の醸成を図る「唐津」を発信するためのスポーツイベントとして、フルマラソン大会を開催しては。

交流 課題も多く、関係機関と意見交換し、開催の可能性を探る。



相知ロードレース大会



白水 敬一
(公明党)

新年度予算編成について

質問 新年度予算方針とそのスケジュールは。

財務 合併特例債終了後の平成33年度に向けての土台づくりで一月上旬部長査定、二月上旬市長査定で二月中旬予算決定。

質問 総合計画や地元との合意形成での新事業は予算に計上すべきだ。

財務 これらの事業についてはすべて当初に計上していく。

質問 シルバー人材センターの充実について(退職シニアの就業)

は38件、延べ4738名が派遣され、1840万円の受注額である。今後コーディネーターを配置すると共に軽作業から送迎運転、病院等の調理補助、宅配等に就業機会の拡大を図っていく。

住宅団地開発事業について

質問 住宅団地開発後の市道、公園等が市へ移管されていないところがあ。困るのは住民の方々、早急に移管を進めるべきでは。

都市 開発業者の住宅団地申請時の要件がクリアされていないのが原因だ。住民の要望をかなえるためにも、今年度中に移管が出来るようにしていく。

質問 シルバー派遣事業拡大のために多彩な就業機会を開拓してのシルバークリウド事業を拡大することが必要だ。



伊藤 泰彦
(清風会)

消防庁舎について

質問 建設年について。

消防長 本署(二太子)が昭和56年、東部(浜玉町)、南部(厳木町)、西部(肥前町)、北部(呼子町)の各分署は昭和48年に、中部分署(石志)が、平成26年竣工している。

質問 本署の問題点は。

消防長 ①敷地面積が狭く十分な訓練スペースがなく来庁者用の駐車スペースが3台しかない。②消防車両の大型化等により、車両と車両の距離が十分確保出来ない。③当直環境の衛生面に課題があり、インフルエンザ等の感染症対策が課題。

質問 本署の整備計画については。

体の老朽化が進み、耐震性も確保できていない。②敷地及び庁舎が狭い③汚染された資機材や服の洗浄・消毒する施設や仮眠室の個室化等、緊急整備が必要④女性職員が当直できる施設整備が必要。

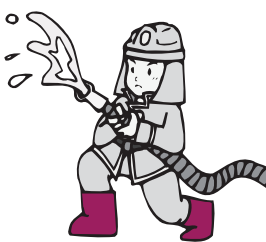
質問 今後の各分署の整備計画について。

消防長 中部分署を除いた4分署の整備計画は平成29、30年度に移転先の土地を購入。平成31、32年度までに4分署全ての完成を目標としている。

高齢者の運転について

質問 高齢者の運転免許証の自主返納推進と今後の取り組みについて。

保健 県とも連携を図り、免許証返納の機運を高め、地域の実情に合った交通手段の確保に取り組む。





古藤 豊志 (清風会)

JR浜崎駅周辺整備の進捗状況について

質問 これまでの経緯は、

都市 平成27年度に浜崎駅周辺整備検討委員会を立ち上げ、4回の委員会を開催し、「浜崎駅南北自由通路設置等基本計画」を策定。平成28年度から、本基本計画を基に浜崎駅の整備パターンやコストなどについて、JR九州と具体的な協議を6回行い、利便性やコスト面で2階駅案より、さらにメリツトがある南北に改札口を設ける「ダブルラッチ」案が新たに浮上してきた。

質問 完成までの今後のスケジュール予定は。

都市 JR九州と最終調整を行い、平成31年度から工事に着手し、平成32年度完成を目標。

質問 浜崎駅周辺整備について、市長の考えは。

市長 本市の東の玄関口であり、浜崎駅周辺整備にしっかりと取り組み、本市全体の定住人口の拡大や観光振興・交流人口

の拡大につなげたい。

保育所の運営について

質問 公立6保育園の職員数と国の基準について。

保健 正規職員10人、嘱託職員27人、臨時職員8人、全体職員45人。公立の6保育所すべてが国の基準を満たしている。

質問 嘱託職員、臨時職員の割合が高いが。

保健 公立保育所等の運営方針に基づき民営化を進めていることから、正規職員の採用を控え、嘱託職員、臨時職員を雇用して予定期間まで運営。

質問 保育士として採用され事務職をしている職員を民営化になるまでの期間、保育の現場に配置できないか。

総務 過去の施設民営化により、一旦事務職に配置した保育士は、人事異動の際、配慮が必要。

の拡大につなげたい。

保育所の運営について

質問 公立6保育園の職員数と国の基準について。

保健 正規職員10人、嘱託職員27人、臨時職員8人、全体職員45人。公立の6保育所すべてが国の基準を満たしている。

質問 嘱託職員、臨時職員の割合が高いが。

保健 公立保育所等の運営方針に基づき民営化を進めていることから、正規職員の採用を控え、嘱託職員、臨時職員を雇用して予定期間まで運営。

質問 保育士として採用され事務職をしている職員を民営化になるまでの期間、保育の現場に配置できないか。

総務 過去の施設民営化により、一旦事務職に配置した保育士は、人事異動の際、配慮が必要。



浜崎駅



志佐 治徳 (日本共産党 唐津市議団)

就学援助について

質問 タイガーマスクの伊達直人が名乗りを上げられた。自身が手助けで入学した経験から、児童施設の子どもにランドセルを贈る運動を始めたとは。

「6歳の春を泣かせない」ために、これまで5月に支給していたものを入学前の3月にできないか。

教育 申請を受けた後4月に認定し支給してきた。福岡市で既に実施し、佐賀市も来年の新学期から実施すると聞いている。本市も研究したい。

質問 入学準備に、サラ金を利用した話を聞く。1月に申請を受け付け3月に支給すべきだ。

2年前『子どもの貧困対策の推進に関する』法律ができて、厚労省の自治体への通知「要保護児童生徒援助費補助金の事務処理」の留意事項で「要保護者への支給は年度の当初から開始し、各費目について、児童生徒

が援助を必要とする時期に速やかに支給することができるよう十分配慮すること。特に、新入学児童生徒学用品等」となっている。改善すべきでは。

教育 システムの改定をする都合もあるので、前向きに検討し平成29年度から実施したい。

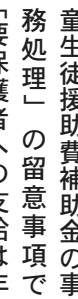
玄海原発について

質問 福島原発から5年9ヶ月、多くの人が故郷に戻れないし、今後も続く。使用済み燃料は10数万年人類が管理しなければならぬ。危険なものがある。市民の安心安全は確保できない。再稼働を認めるべきではないと考えるが。

市長 原発の依存度を下げ、方向で行きたい。

その他の質問

◎小学校の学校給食無料化について



が援助を必要とする時期に速やかに支給することができるよう十分配慮すること。特に、新入学児童生徒学用品等」となっている。改善すべきでは。



浦田 関夫 (日本共産党 唐津市議団)

不登校児童・生徒の現状と対策について

質問 「唐津市の不登校児童生徒が全国水準より高い」という深刻な事態が明らかになった、その原因と対策は。

教育長 一〇〇〇人当たりの中学校における不登校は全国28・2人。唐津市36・8人となっており、平成25年からこの傾向がある。要因は、様々だが心理的なもの、人間関係、勉強のつまずきなどが考えられる。対策として、教育相談主任を中心として取り組んでいる。

質問 教職員の超過勤務(月80時間以上)が12%だと報道された。原因は。

教育長 学習指導や報告事務、部活などがある。

質問 多忙化の原因に中学校における「部活指導」がある。他県では、土・日のどちらかを休んでいる。

教育長 土・日を休むこと

どの必要性は感じているが「対外試合」などの関係もあるので、県内の学校との足並みを揃える必要がある。

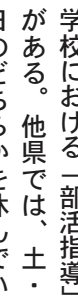
公民館のバリアフリー化と建て替えについて

質問 建て替えまでに相当の時間がかかる公民館については「エレベーター設置」を年次的にすべきではないか。

教育 長松公民館については来年度設置をしたい。

質問 竹木場公民館は、道路拡張工事で移転しなければならぬ。「移転補償金」が出るので、建て替え順番にかかわらず早期に着手すべきでは。

教育 呼子、西唐津と進めており、次は竹木場の番でもあり「平成31年度着工」に向けて県とも協議したい。



竹木場公民館

玄海原子力発電所対策特別委員会報告書（抜粋）

本委員会は、玄海原子力発電所に関する諸課題に対し、問題を的確にとらえ、市民の安全・安心の確保の実現に向け、取り組んできました。

平成27年3月25日から平成28年12月9日まで、11回の委員会を開催しました。

本委員会の意見として、

- 1 唐津市の避難計画については、現状の問題点・課題を明らかにし、地域の実情に即したより具体化した実効性のあるものとする。
- 2 玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に向けた地元同意手続きについては、
 - (1) 佐賀県が再稼働の判断について国から意見を求められた際には、説明会を開催するよう県に申し入れをすること。
 - (2) 佐賀県が再稼働について最終判断をする際には、唐津市民の意見を十分考慮するよう県に申し入れをすること。以上、執行部に申し入れました。

公共施設・交通対策に係る特別委員会報告書（抜粋）

本委員会は、人口減少に伴う公共施設のあり方及び公共交通ネットワークに関する諸問題への取り組みの検証を目的として、設置しました。

平成27年3月25日から平成28年12月1日まで、14回の委員会を開催し、委員相互の公共施設のあり方に関する知識を深めるとともに、現状を把握するため市内施設の現地調査等を行い、また、平成26年度策定の「唐津地域公共交通網形成計画」に基づき作成された「唐津地域公共交通再編実施計画」の内容について、検証・協議を続けてきました。

「唐津市公共施設白書」並びに来年度から取り組む「唐津市公共施設再配置計画」の策定にあたり、公共施設の機能集約を推進するため次のとおり提案しました。

- 1 「唐津市公共施設白書」は、周辺施設との統廃合や機能集約まで含めた検討ができるよう早急に取りまとめるとともに、「唐津市公共施設再配置計画」の策定に速やかに着手し、当該計画に基づき公共施設の機能集約を図ること。
- 2 「唐津市公共施設再配置計画」の策定にあたっては、取りまとめた「唐津市公共施設白書」をもとに、公共施設の保有量削減の必要性について、市民の理解が得られるよう地元説明会を行うなど丁寧な対応に取り組むこと。

特に「唐津市公共施設再配置計画」の策定前に更新等の方針決定がなされる計画については、白書との整合性に留意し慎重に検討すること。

公共交通のあり方について、次のとおり提案しました。

- 1 「唐津地域公共交通網形成計画」に基づき、地域の特性や住民のニーズなどを調査し把握した上で、既存路線の延伸やデマンド交通の導入など対策方法を検討し、交通空白地及び移動困難地域の解消に努めること。
- 2 公共交通利用者、特に市民が利用しやすいものとなるよう、料金体系の再検討を行うとともに、地域の要望に応じて既存の公共交通路線の見直しを行うなど、改善に努めること。
- 3 人口減少や高齢化に伴い、増加が見込まれる移動困難者の対応策について検討を行うこと。

新庁舎及び議会棟建設に係る特別委員会報告書（抜粋）

本特別委員会は、平成27年12月1日に、新庁舎建設に係る様々な課題を把握・検証し、市民サービスの向上に資する新庁舎及び議会棟建設に寄与することを目的として設置しました。

第一回の中間報告では、議会関係の施設は行政棟の建築物内に設置する等の3項目を提案し、議会棟の場所について方向性を示しました。また、第二回の中間報告では、議場、傍聴席、委員会室等、議会関係各室の規模及び構造について10項目提案。

その後も、唐津市新庁舎建設基本計画策定の進捗状況の確認や、唐津市森林・林業活性化促進地方議員連盟からの要望書についての協議など、積極的に委員会を開催し、協議を進め、次のとおり提案しました。

1 新庁舎について

- (1) 行政機能の移転を優先的に考え、建築コストや景観・美観にも配慮した建築物とすること。
- (2) 自然環境への配慮及び地域林業や木材産業の活性化などの産業振興の観点から、地元産木材の積極的な利活用を検討すること。

2 議会棟について

- (1) 議会棟は独立した別棟とはせず行政棟の建築物内に、設置するものとする。ただし、議会は、首長（市長）及び執行機関を監視・評価する立場である二元代表制の観点から、議会施設と行政施設の区分は明確にすること。

3 議会各施設の規模及び構造について

- (1) 議場は、議席と執行部席を対面式の配置にし、床は段床方式で、机は固定式とすること。ただし、段差については、車椅子等にも対応できるようバリアフリーに配慮すること。
- (2) 傍聴席は、現状の席数とし、議席との間は一定の距離を保ち、かつ、市民が傍聴しやすく議場全体を見渡せるような傍聴席の配置となるよう配慮すること。

唐津観光議員連盟 報告書（抜粋）

下記の提言書を、平成28年12月6日坂井市長へ提出しました。

要旨を報告します。

「唐津市観光に関する提言書」

○観光地域からつが目指すべき姿と実現に向けて

観光地域からつが目指すべき姿を実現させるためには、市民が観光に対する認識を共有することが前提であり、市民自らが主体となって共に地域を盛り上げていくことが求められます。

また、唐津のひとが誇れるオンリーワンの唐津を実現することで、多様な資源や文化が活かされ、唐津という街が「最高の観光商品」となり、観光産業が基幹産業の1つとなることを目指すものであります。

この目指すべき姿の実現に向けて、1) オンリーワンの唐津に向けた将来ビジョンの実現、2) 地域の宝（資源）を活かした付加価値の創出、3) 観光で地域が儲かるための仕組みづくりと意識改革、4) 観光の担い手づくりと各種連携の強化、5) 全4項目の早期実現を目指した組織強化及び予算措置を講じることともに唐津版DMOの構築を推進することが必要であります。

併せて、多様な観光客を受け入れるための地域インフラの整備にも取り組んでいくことが重要であり、多言語対応のみならず、おもてなしの観点から観光トイレなどの整備を図っていくことが必要です。

最後に、これらを実現することで、「街のために観光があり、そこに住む人が輝くオンリーワンの街」として発展していく、まさに唐津市の9つの地域資源が光り輝き、多くの方々が交流し笑顔が溢れる地域になることに期待を寄せ、最終の提言と致します。



「唐津くんちの曳山行事」が登録された“ユネスコ無形文化遺産”とは

条約の概要

2003年 **無形文化遺産保護条約** 採択〔2004年 日本締結(世界で3番目)、2006年 発効〕
 ※世界遺産条約【有形遺産】(1972年採択、1975年発効)

【目的】 ■ 無形文化遺産の保護

■ 無形文化遺産の重要性及び相互評価の重要性に関する意識の向上 等

【内容】 ■ 「**人類の無形文化遺産の代表的な一覧表**」(代表一覧表)の作成

■ 「緊急に保護する必要がある無形文化遺産の一覧表」の作成

■ 無形文化遺産基金による国際援助 等

締約国数：161か国

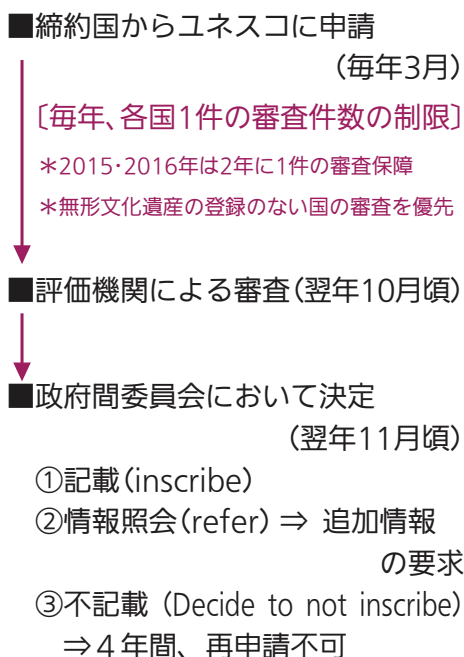
我が国の無形文化遺産登録(代表一覧表記載)状況等

現在 22件
世界全体では314件

○重要無形文化財 △文化審議会決定
 ●重要無形民俗文化財 ▲情報照会

2008	のうがく ○能楽 にんぎょうじょうりふんらく ○人形浄瑠璃文楽 かぶき ○歌舞伎
2009	ががく ○雅楽 おちやちみ・えちごじょうふ ○小千谷縮・越後上布〔新潟〕 ●日立風流物〔茨城〕 ●京都祇園祭の山鉾行事〔京都〕 こしきまのとしどん ●甌島のトシドン〔鹿児島〕 ●おくのとのあえのこと ○奥能登のあえのこと〔石川〕 ●はやちねがくら ●早池峰神楽〔岩手〕 ●あきうのたうえおどり ●秋保の田植踊〔宮城〕 ちゃつきらこ ●チャッキラコ〔神奈川〕 ●だいにちどうぶがく ●大日堂舞楽〔秋田〕 ●だいもくたて ●題目立〔奈良〕 ●あいぬこしきぶよう ●アイヌ古式舞踊〔北海道〕
2010	くみおどり ○組踊 ゆうきつむぎ ○結城紬〔茨城・栃木〕
2011	●みぶのはなたうえ ●壬生の花田植〔広島〕 ●さだしんのう ●佐陀神能〔島根〕 ▲【情報照会】 ほんみのし ほんみのし ほんみのし ほんみのし ほんみのし 本美濃紙、秩父祭の屋台行事と神楽、高山祭の屋台行事、男鹿のナマハゲ
2012	●なちのでんがく ●那智の田楽〔和歌山〕
2013	△わしょく △和食：日本人の伝統的な食文化 にほんじんのでんとうてきなしよくぶんか
2014	○わし ○和紙：日本の手漉和紙技術〔石州半紙、本美濃紙、細川紙〕 にほんのてすきわしぎじゆつ せきしゅうばんし ほんみのし ほんかのし ※2009年に無形文化遺産に登録された石州半紙〔島根〕に国指定重要無形文化財(保持団体認定)である本美濃紙〔岐阜〕、細川紙〔埼玉〕を追加して拡張登録。
2016	●やまほこやたいぎょうじ ●山・鉾・屋台行事 ※京都祇園祭の山鉾行事、日立風流物に、秩父祭の屋台行事と神楽〔埼玉〕、高山祭の屋台行事〔岐阜〕(ほか国指定重要無形民俗文化財である山・鉾・屋台行事を追加して拡張提案〔2014年3月提案〕 ※「唐津くんちの曳山行事」も含まれます。

登録までの流れ



登録基準 <無形文化遺産保護条約運用指示書(抜粋)>

- 申請国は、申請書において、代表一覧表への記載申請案件が、次のすべての条件を満たしていることを証明するよう求められる。
1. 申請案件が条約第2条に定義された「無形文化遺産」を構成すること。

(a)口承による伝統及び表現 (b)芸能 (c)社会的慣習、儀式及び祭礼行事
 (d)自然及び万物に関する知識及び慣習 (e)伝統工芸技術
 2. 申請案件の記載が、無形文化遺産の認知、重要性に対する認識を確保し、対話を誘発し、よって世界的に文化の多様性を反映し且つ人類の創造性を証明することに貢献するものであること。
 3. 申請案件を保護し促進することができる保護措置が図られていること。
 4. 申請案件が、関係する社会、集団および場合により個人の可能な限り幅広い参加および彼らの自由な、事前の説明を受けた上での合意を伴って提案されたものであること。
 5. 条約第11条および第12条に則り、申請案件が提案締約国の領域内にある無形文化遺産の目録に含まれていること。



意見書(要旨)

市議会では、意見書として、権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、議員職の専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。

議会を傍聴してみませんか

12月定例会の傍聴者は、本会議延べ28名でした。次回の市議会定例会は3月に開かれる予定です。車椅子専用の傍聴席(2席)も整備されています。

編集後記

議会だより編集委員メンバーによる最後の『議会だより』となりました。

私達が2年間編集委員となり、どれほどの市民の方々に読んで頂いたのか、読み易くなったのか、議会の事を上手く伝える事が出来たのかと自問自答しています。

皆さんの手元に届く頃には、新たな市長・市議会議員も選出され、新しい年の始まりであり、新たな唐津市のスタートの年となります。

唐津市議会がインターネットで視聴できます

【放送する議会】

定例会および臨時会、決算・予算等特別委員会

【視聴方法】

唐津市議会ホームページからご覧いただけます。

※録画配信については、会議終了後、概ね3日(土・日・祝日を除く)以内に配信を開始します。

【問い合わせ】

議会事務局 TEL0955-72-9162

唐津市議会 インターネット中継

検索

「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- | | |
|-------------|-----------|
| ・委員長 大西 康之 | ・委員 馬場 幸年 |
| ・副委員長 中川 幸次 | ・委員 中村 健一 |
| ・編集長 富田 幸樹 | ・委員 榎崎三千夫 |
| ・委員 江里 孝男 | ・委員 志佐 治徳 |
| ・委員 吉村慎一郎 | ・委員 水上 勝義 |
| ・委員 伊藤 一之 | |

委員会の現地調査

唐津市議会には4つの常任委員会が設置されています。付託された議案等の中から、現地確認が必要な箇所を選定し調査しています。



市民厚生委員会

唐津市子育て支援センター（東城内）



総務教育委員会

旧加部島小学校（呼子町）



都市整備委員会

蕨野第二地区急傾斜地（相知町）



産業経済委員会

旧大島邸（南城内）

唐津市議会議員 第3期

平成28年12月22日



（「唐津市議会だより」は再生紙を使用しています）

◎ 発行：唐津市議会

◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会

唐津市議会事務局 ☎ 72-9162 FAX 75-1515 (☎847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)